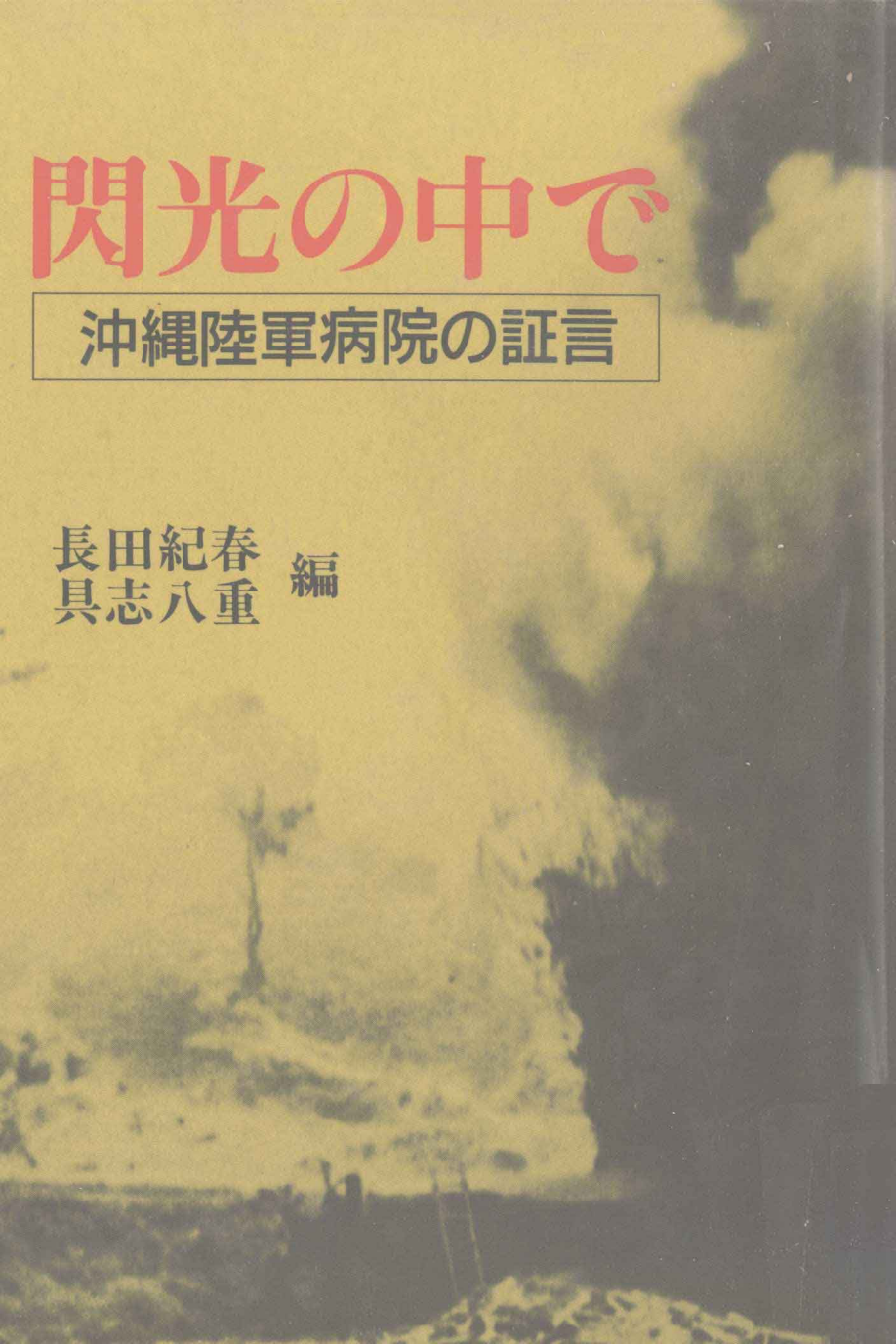


閃光の中で

沖縄陸軍病院の証言

長田紀春 編
具志八重



編 者 略 歴

長 田 紀 春（ながたきしゅん）

大正 9 年 8 月 24 日生

昭和 17 年 千葉医大附属医専部卒

千葉医大小児科教室に入局後入隊

昭和 19 年 病気のため除隊

昭和 20 年 予備軍医として沖縄陸軍病院第三外科に勤務し参戦

昭和 21 年 沖縄北部の宜野座病院小児科勤務

昭和 28 年 東京大学小児科教室研究生

昭和 32 年 那覇市松尾にて小児科医院を開業し今日に至る

現住所 那覇市前島 2-14-20

具 志 八 重（ぐしやえ）

大正 6 年 3 月生まれ。那覇市東町出身

昭和 8 年 沖縄県立第二高等女学校卒業

12 年 産婆、看護婦資格取得

15 年 恩賜財団・済生会沖縄県支部巡回看護婦に採用

17 年 保健婦検定試験合格

20 年 看護婦として沖縄陸軍病院伝染病棟科（第三外科）勤務し従軍

21 年 公衆衛生院第 8 回看護学科終了

26 年 群島政府厚生部看護課長事務取扱

30 年 政府立公衆衛生看護学校助教師

32 年 コザ、那覇、石川、名護の各保健所勤務

現在 「沖縄いのちの電話」等、種々のボランティア活動に参加

閃光の中で

定価 2,000 円（税込み）

— 沖縄陸軍病院の証言 —

発行日 1992 年 6 月 23 日

発行所 ニライ社

〒900 那覇市辻 1-1-6 ☎098-867-9111

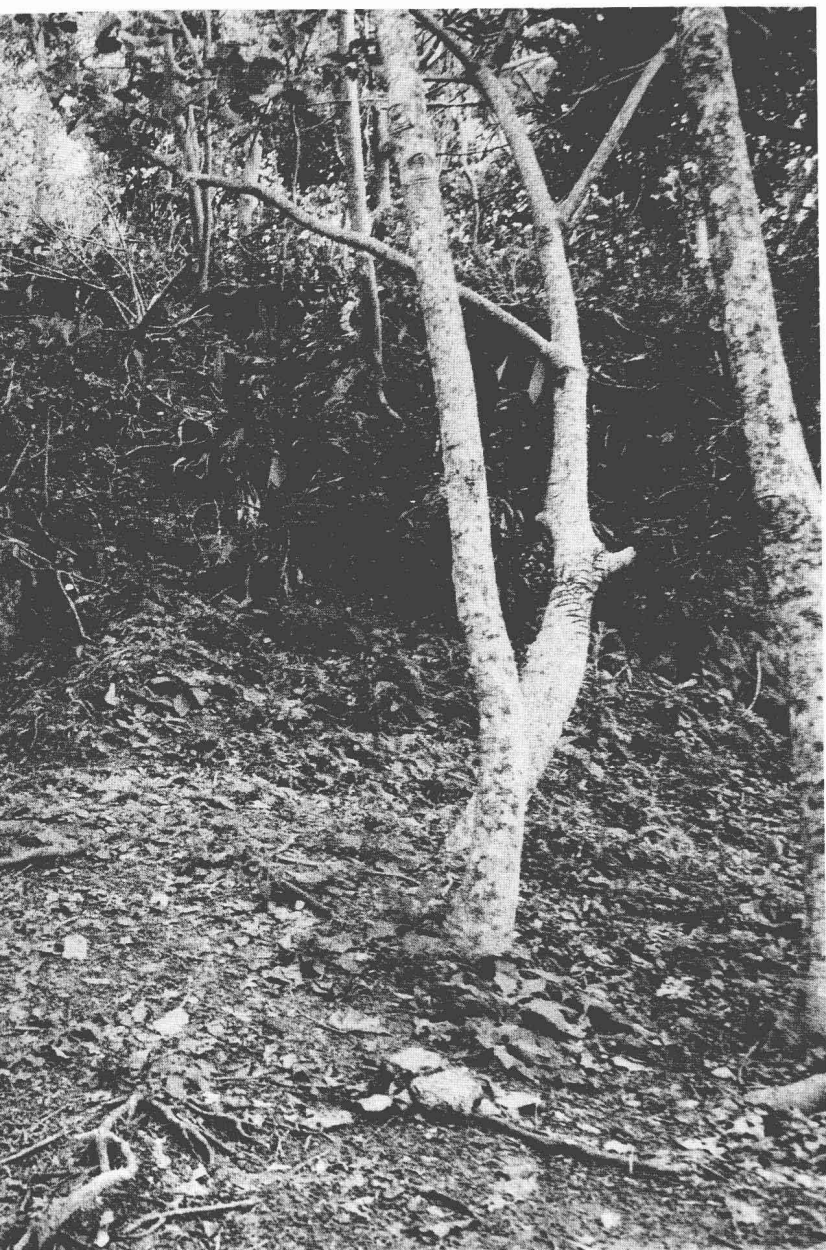
印 刷 瞬報社写真印刷株式会社

閃光の中で

沖縄陸軍病院の証言

長田紀春 編
具志八重

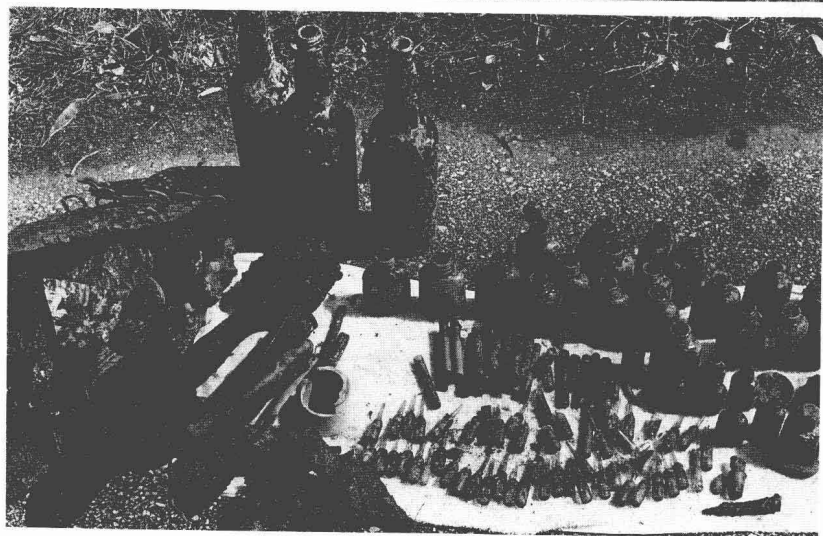
ニライ社

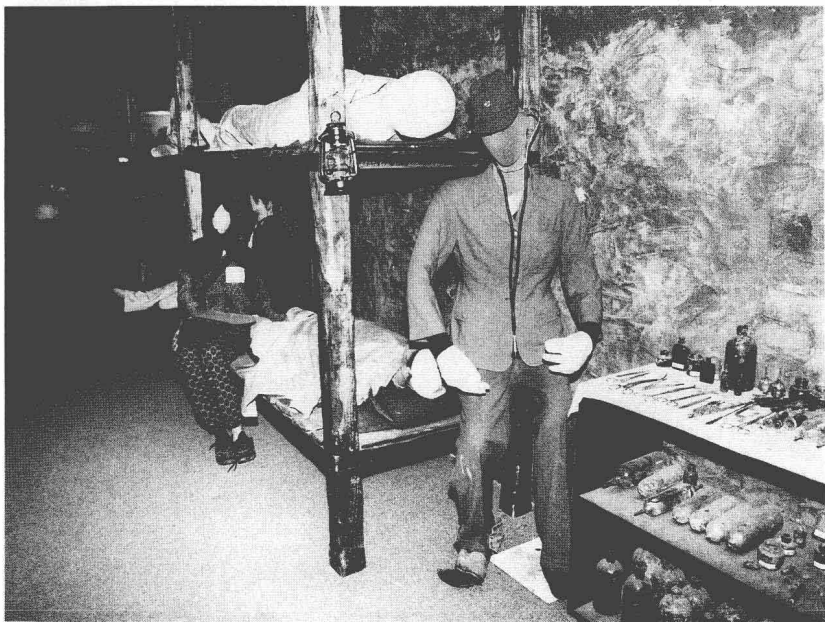






南風原村の黄金森にあった
陸軍病院壕跡の収骨作業
場所によつては未だに下の写真のよう
に遺骨や遺留品、不発弾などが出る。





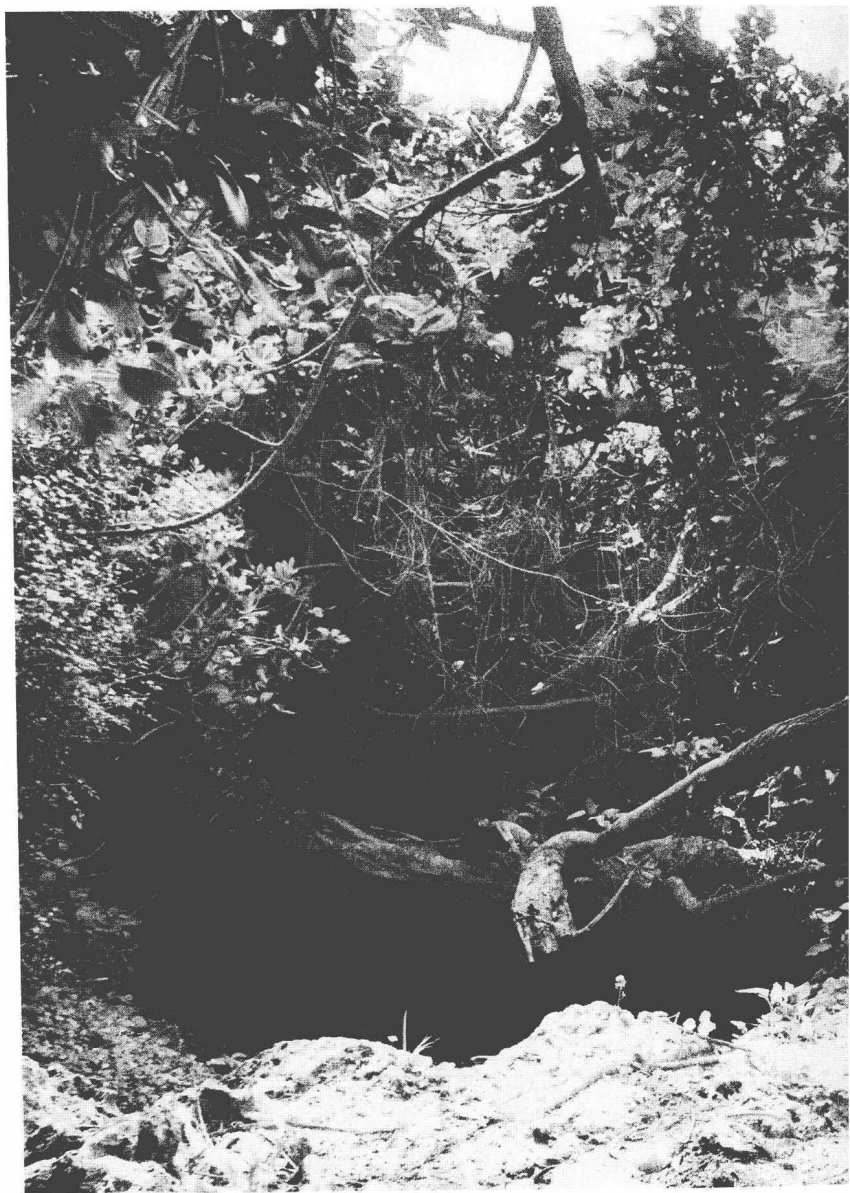


壕内を調査する関係者

病院壕に今も残るベッドの杭の跡(右頁上)
南風原文化センターに再現された病院壕内の様子(下



糸満市山城の本部壕前の旧沖縄陸軍病院戦没職員の碑

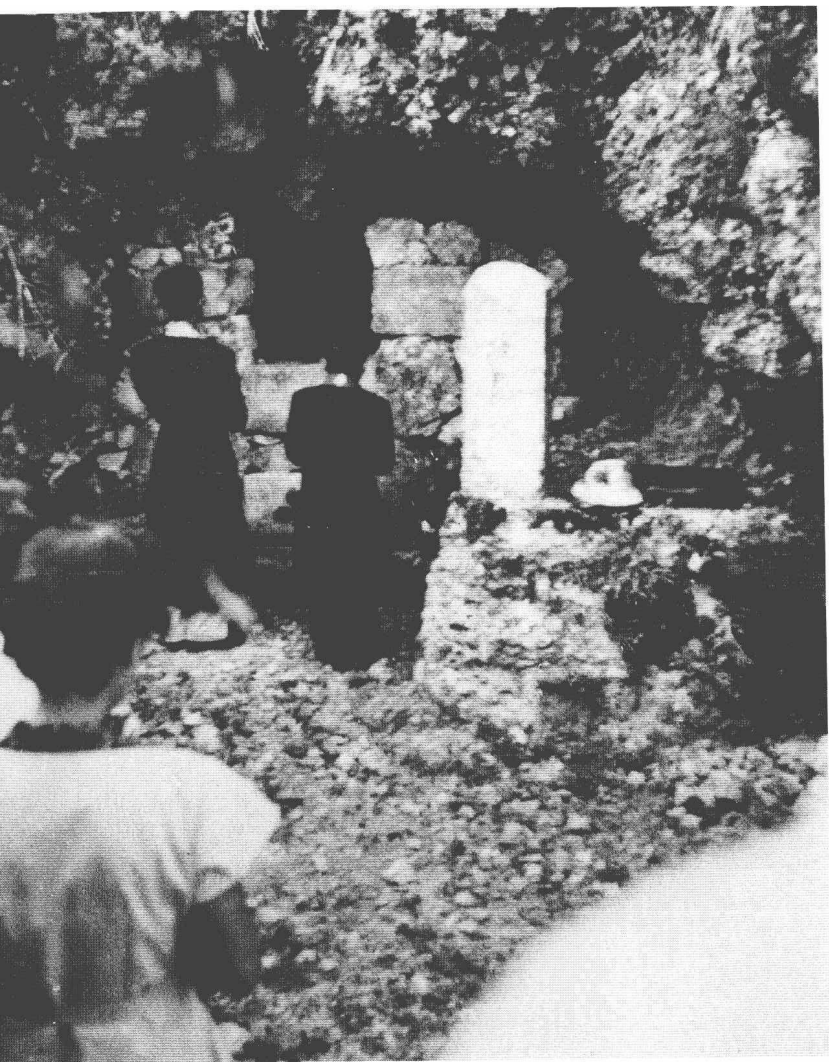


山城の沖縄陸軍病院本部壕跡





伊原の第一外科壕跡



糸満市糸洲の第二外科壕跡
慰霊祭をとり行なう関係者



終戦直後の糸洲の壕内



伊原の第三外科壕入口



伊原の第三外科職員の碑